

アワビ陸上養殖継続への市の対応は

問 三谷水産高校は、旧市民プール解体後も設備を移設して、アワビ陸上養殖の継続を望んでいると思うが、市の対応は。

答 旧市民プール管理棟の使用貸借契約満了後も、現在の設備を使って事業を継続したいのであれば、設備の無償貸与等の支援ができるかと考えている。また、解体工事の進捗に影響のない範囲で、設備移転の日程も協議することができる。



アワビの陸上養殖の様子

消防団の今後は

問 機能別消防団員制度導入への市の考えは。

答 基本団員の確保が困難な状況であり、災害活動を重視した本制度の早期導入を検討したい。

来本健作（無党派）

子ども医療費助成の18歳までの拡充について

問 18歳までの助成実施の可能性は。

答 県の助成対象者の拡充や実施市の増加等、情勢が変化した段階で検討したい。当面は中学校卒業までの助成の継続に努める。

いじめ相談窓口についてLINEの活用を

問 LINEを活用した相談窓口開設の考えは。

答 いじめを認知するアンケートの一つとして活用できるかを、既に導入している自治体の効果検証を注

視しながら研究していく。



- 1 その他の質問
- 2 給食費無料化
- 3 読書通帳の導入
- 3 子育て応援都市宣言

喚田孝博（自民党市議団）

災害時要援護者支援制度の見直しを

問 要援護者登録台帳の情報提供者を常会長や地域の自主防災会長まで拡大する考えはあるか。

答 災害時の支援者は近隣住民なので、地域の支

援体制づくりの観点からも自主防災組織等への情報提供は必要である。本人やその家族、総代、民生委員、地域支援者の意見を聞いて、常会長への拡大を慎重に検討していきたい。

問 近隣市町と比較して避難行動要支援者の基準が厳しいと思うが、見直しの考えは。

答 基準の見直しは対象者の増加につながるため、総代をはじめ関係者の理解を得ながら、自主防災組織や地域で構築した支援ネットワーク等も含め、今後見直していきたい。

柴田安彦（無党派）

市が保管する遺骨の扱いについて

問 市が保管する行旅死亡人など引き取り手のない遺骨を埋蔵できるようにルールを作るべきではないか。

答 現在、市が保管する遺骨の取り扱いの規定はないが、長期保管は望んでいない。福祉事務所と協議し、適正な保管期間とその



玉ノ木墓地

経過後の取り扱い等を定められるよう研究したい。

問 市が保管する遺骨の埋蔵先として、また、お墓の継承者のない人や将来の負担が心配な人のために、斎場西の玉ノ木墓地を合葬墓地として整備できないか。

答 市内の墓地需要が逼迫したり、新たな形のお墓や市営墓地が必要になる場合に、玉ノ木墓地を候補地とすることができると、墓地整備のあり方を研究したい。